

題 名：みほとけの Mihotokeno

作者名：黒野 清宇（貞夫）（名誉教授）

Seiu (Sadao) KURONO (Professor Emeritus of Aichi University of Education, Kariya 448-8542, Japan)

サイズ：274×172 (mm)

釈 文：みほとけのうつらまなこにいにしへのやまとくにはらかすみであるらし



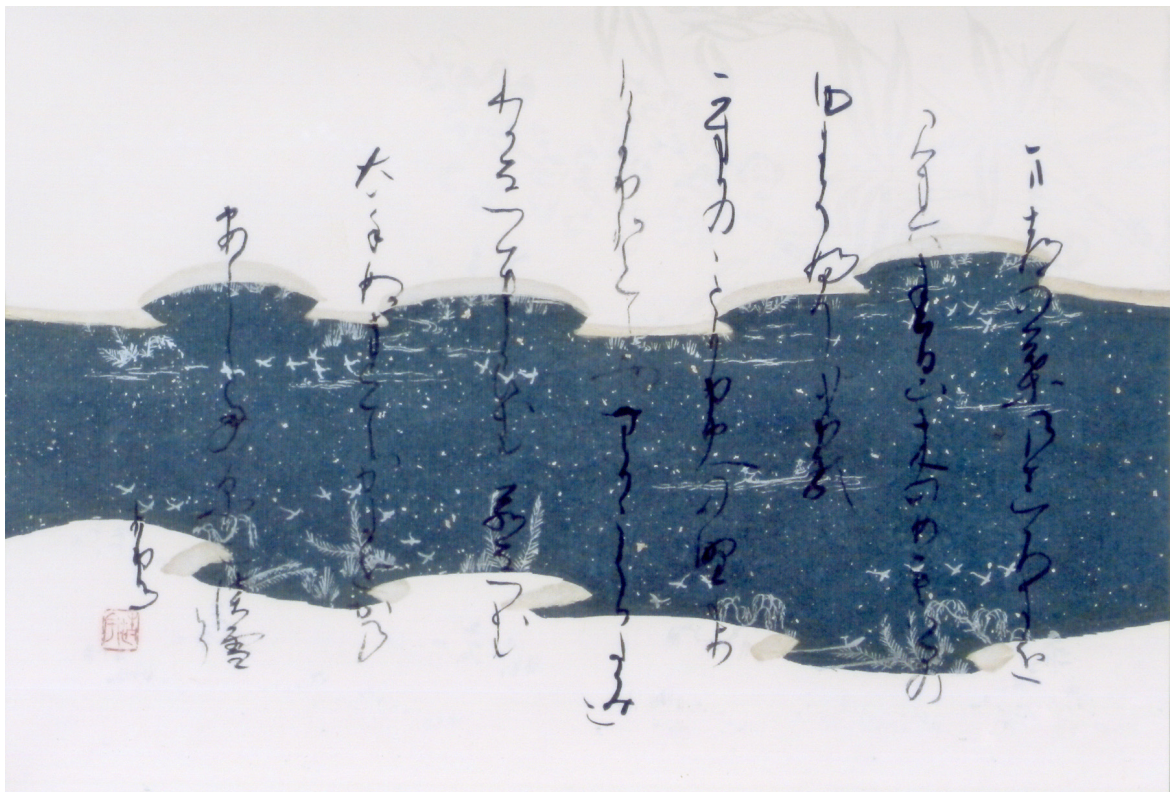
題名：あまざかる Amazakaru

作者名：黒野 清宇（貞夫）（名誉教授）

Seiu (Sadao) KURONO (Professor Emeritus of Aichi University of Education, Kariya 448-8542, Japan)

サイズ：348×230 (mm)

釈文：あまざかるひなのながちゆこひ来(くれ)ば明石のとより大和嶋見ゆ
もののふの八十氏河のあしろ木にいさよふなみのゆくへしらずも



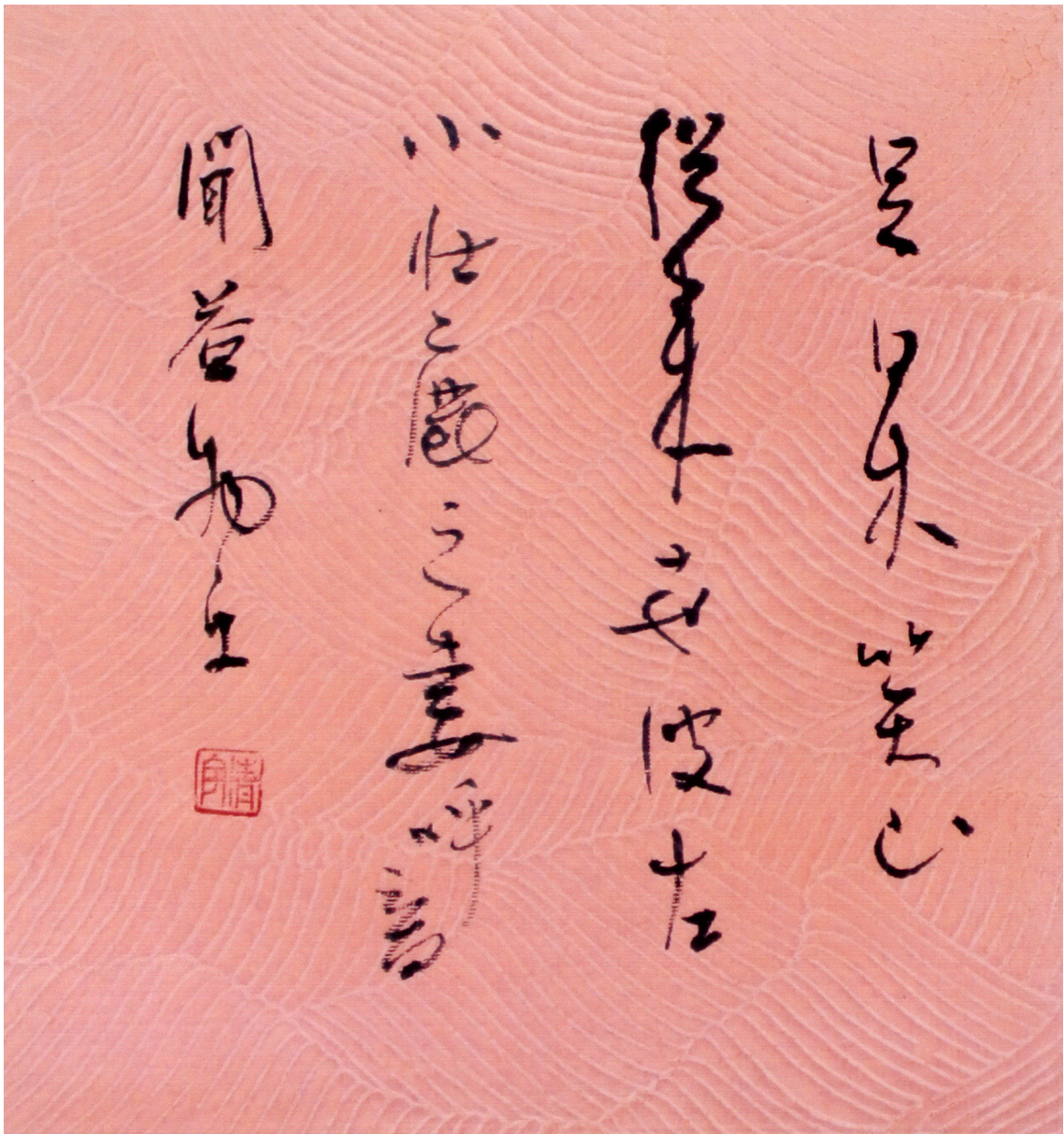
題名：松の葉の Matunohano

作者名：黒野 清宇（貞夫）（名誉教授）

Seiu (Sadao) KURONO (Professor Emeritus of Aichi University of Education, Kariya 448-8542, Japan)

サイズ：348 × 230 (mm)

釈文：松の葉のしろきを見れば春日山木のめもはるのゆきぞふりける
かすがののとふ火の野もりけふとてやむかしかたみにわかなつむらむ
若葉つむ衣手ぬれてかたをかあしたの原に淡雪ぞふる



題名：足日木 Ashibiki

作者名：黒野 清宇（貞夫）（名誉教授）

Seiu (Sadao) KURONO (Professor Emeritus of Aichi University of Education, Kariya 448-8542, Japan)

サイズ：173×138 (mm)

釈文：足日木笑 山従来世波 左小壯鹿之 妻呼音 聞益物乎

〈訓読〉あしひきの山より来せばさ牡鹿(をしか)の妻呼ぶ声を聞かましものを